

# 子宮頸がん検診 Q&A



Q 子宮頸がん検診なんてまだ早いんじゃないか…？

A

決して早くはありません。近年、20歳代の子宮頸がん患者さんが急増しています。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因とされており、一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性は考えられます。通常は、体の免疫機能が働きがんにはなりません。まれに感染が長く続くと細胞ががん化することがあります。



Q 子宮頸がん検診って痛いんじゃないか…？

A

検診はヘラやブラシなどで子宮頸部の細胞をこすり取るだけの簡単なもので、力まずにリラックスしていれば痛みはほとんど感じません。

ただ、性交渉の経験がない方は、検診時器具を挿入するため、処女膜が傷つき出血や痛みを伴う可能性があります。

また、膈内に器具を挿入しても膈内が広がらない場合や、外子宮口が見えづらい場合は検診が難しいことがあります。上記をご理解いただいた上で受診をご検討ください。

